

LPガス流通関連予算（案）373.7億円  
災害に備えた自衛的燃料備蓄推進に41.1億円 10億円増額  
＝令和元年度補正・2年度当初予算（案）額＝

令和元年度補正予算・同2年度当初予算（案）のLPガス石油流通予算額は373.7億円となった。平成30年度第2次補正予算額・令和元年度当初予算額の395.4億円に比べて21.7億円の減額だが、これは国庫債務整理基金特別会計への繰入、つまり国家備蓄基地建設に係る借入金返済費用等が223億円から194億円に減少することに伴うもの。実質は小幅増額となっている。

今回LPガス関連予算（案）のポイントは次のとおり（カッコ内は前年度予算額）。

1. 災害対応能力等の強化41.1億円（31.5億円）

災害時に備えた社会的重要なインフラへの自衛的な燃料備蓄の推進事業費補助金（LPガスタンク分）：補正予算20.8億円，当初予算20.3億円

\*事業内容：災害時において、道路等が寸断した場合に、サービスステーション（SS）やLPガス充てん所などの供給側の強靱化だけでは燃料供給が滞る可能性があることから、需要家側においても自家発電設備等を稼働させるための燃料を「自衛的備蓄」として確保するため、避難所や多数の避難者・避難困難者が発生する施設等の社会的重要なインフラ等への燃料備蓄を推進すべく、分散型エネルギーであるLPガスタンクや石油タンク等の設置を支援。

2. LPガスに係る取引適正化，流通合理化の推進7.5億円（7.5億円）

石油ガスの流通合理化及び取引的適正化等に関する支援事業費：2年度予算額7.5億円

\*事業内容：LPガスに関する消費者トラブルに対応し、取引の適正化を図るとともに、LPガスの安定供給体制を確保するため、各都道府県の民間企業等が行う消費者相談や中核充填所の拡充など防災体制整備のための支援。LPガス販売事業者の経営基盤を強化するため、LPガスの料金透明化や流通構造を合理化するための取組みに対する支援。

3. LPガス備蓄体制の強化325.2億円（356.4億円）

- ① 国庫債務整理基金特別会計へ繰入194.0億円（356.4億円）
- ② 緊急時放出に備えた国家備蓄石油及び国家備蓄施設の管理委託費103.0億円（103.0億円）
- ③ 国有資産等所在地市町村交付金25.7億円（28.0億円）
- ④ 石油及び石油ガス備蓄事業の実施に係る運営費交付金2.4億円（2.4億円）
- ⑤ 土地借料（LPガス基地分）0.02億円（0.03億円）